

皆さん明けましておめでとうございます。

年末から元日にかけて厳しい寒さが続きましたが、お正月はどのように過ごしたでしょうか。「一年の計は元日にあり」といいますから、元日の朝、厳しい寒風について初詣に行き、新たな誓いをした人も多くいたことでしょう。皆さんにとって、この一年が素晴らしい年になることをお祈りしたいと思います。

さて、昨年はロンドンオリンピックや年末には総選挙があり、何かとあわただしい印象を受けた一年でした。また、中学校や高校での「いじめ」問題が頻繁に報道されるなど、相変わらず青少年の様々な行動が問題視された一年でもありました。

私たちは限られた範囲、限られた人とのかわりの中で物事を判断しがちです。また、自分の損得や利害を求める余り、周囲に配慮できない行動をとってしまうことが少なくありません。

しかし、社会生活の中で人に親切にされたり、認められたり、また人のために役に立つことによって、ささやかな喜びを見出し、それが生きていくことの喜びにつながるのではないのでしょうか。

学校という小さな社会でも、互いに助け合い、協力し合いながら学校生活を過ごしています。クラスの仲間や先生方に支えられているという自覚から、周囲の人に対する思いやりの心や他人の気持ちができる力が育っていくのだと思います。

お互いがかけがえのない存在として認め合い、「いじめ」には無縁な思いやりにあふれる学びの場がこれからも継続されていくこ

とを心から願っています。

さて、二〇一三年、平成二十五年の幕が開きました。最初に触れましたが、年の初めは、新たな目標を立てるのに最も適した時期です。一年次生から三年次生まで、その学年に応じた目標があるのだと思います。三年次生は昨日、専門学校と一般企業から合格内定通知が届き、幸先の良いスタートを切ることができました。卒業までの残り少ない日々を無駄にすることなく、一月末からの第四回考査に全力を尽くし、有終の美を飾ってください。

一、二年次生は進路について真剣に考えなければなりません。仕事をすることとは生き抜いていくことであり、人生を豊かにしていくことです。さらには社会に貢献することにもつながります。仕事を通して人のために役立つことが自分の幸せに結びついていくのです。

さらに進路の実現を目指す上で大切なことは、多くの本と出会うことです。休み前集会で話をしましたが、朝読にしっかり取り組みましょう。本との出会いで、世界観が広がり、いろいろな生き方や考え方があるということを学ぶことができます。進路選択のヒントをつかめるかもしれません。己の可能性を信じ、進路実現に向けて邁進していくことを願っています。

きょうは二十四節気の小寒から三日がすぎ、これから節分までの約一ヶ月が、一年の中で最も寒い頃だと言われています。体調管理に十分注意しながら、充実した学校生活を過ごすことができます。ことを期待して私の話を終わります。